

こんちけ

平成18年 5月号

社団法人横浜市都筑医療センター

〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 1-23-4

都筑医療センター訪問看護ステーション	TEL 045-913-5181
都筑ヘルパーステーション	TEL 045-913-3577
都筑区医師会居宅支援センター	TEL 045-911-6100
都筑医療センター介護福祉用具センター	TEL 045-911-6100
共通FAX	045-911-6700

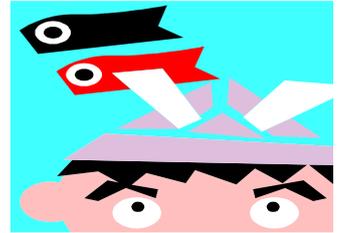
若葉の眩しい季節になりました。おかげさまで10周年の記念講演会を無事に終えることができました。当日は250名の方に会場においでいただきました。鎌田實先生のご講演は暖かいお人柄のにじみ出るもので、会場の皆様と感動を共にいたしました。後半のシンポジウムにもたくさんの方が残ってくださり、私たちの活動を聞いてくださいました。地域の在宅サービスを知っていただくよい機会になりました。たくさんの地域の皆様に前に、気の引きしめる思いで新しい一歩を職員一同歩いて行きたいとおもいます。

利用者さま、ご家族をはじめとする地域の皆様のご指導があって、成長していきえるものと思っております。至らない点は多々あるかと思いますが今後とも宜しく願いいたします。

都筑医療センター在宅事業部 松田 栄子

こんにちは 平成 18 年 5 月号

今月の豆知識 端午の節句



5 月 5 日は端午の節句～鯉のぼりと兜で立身出世～

端午の節句は、奈良時代から続く古い行事です。

季節の変わり目である端午の日に、病気や災厄を避けるための行事が行われていました。

端午というのは、もとは月の端(はじめ)の午(うま)の日という意味で、5 月に限ったものではありませんでした。しかし、午(ご)と五(ご)の音が同じになるので、毎月 5 日を指すようになり、やがて 5 月 5 日のことになったと伝えられています。

古来中国では 5 月は何故か物忌みの月とされ、この日に薬草を摘んだり、菖蒲酒を飲んだりした、けがれを清める習慣がありました。日本でもこの時期は、若い女の子が、田植えの前に家に籠って身を清める「さつきの忌み」の行事があり、この二つが合わさって端午の節句に。

もとは女の子が主役だったはずなのに、男の節句になったのは、武家社会となった鎌倉時代以降、この日につきものの菖蒲が尚武に通じることから男児の節句となり、武具を飾ったり、立身出世を願って鯉のぼりを立てるようになったようです。

童心に帰って…手先のリハビリで折り紙に挑戦してみませんか？

★カブト★

- ① 正方形の紙を対角線に折り、さらに矢印の方向に折る。
- ② ペラペラしている方を上半分にきっちり重ねる。
- ③ ②で折ったところを中央から 20 度くらいに広げて折る。
- ④ 先端を少しずらして折り、さらに点線の部分まで折り返して前立てを作る
- ⑤ 前立ての左右の端を矢印のように折りたたむ。
- ⑥ 残った部分を後ろに折って完成形を整えて飾る。

新人紹介 巡回ヘルパー 吉瀬春夫

はじめまして。4 月から訪問ヘルパーとして働くことになりました、吉瀬と申します。相手を思いやる気持ちと誠実な心を持って、皆様と触れ合う事ができたらと思っております。日々お会い出来る事を楽しみにしております。

編集後記

風薫る 5 月、若葉の緑が目眩しい季節となりました。新芽に負けないように活気ある紙面づくりをこれからも目指したいと思えます。こんな特集をして欲しい、こんなことを知りたいなどのご意見・リクエストがありましたらご一報下さい。よろしくお願いいたします。